

問合せ先

第五管区海上保安本部海洋情報部海洋調査課

主任海洋調査官 杉尾 毅

電話 078-391-6651 (内線 2531)



平成28年7月28日

第五管区海上保安本部

大阪湾再生水質一斉調査を8月に実施します

第五管区海上保安本部は、毎年夏に行われる「大阪湾再生水質一斉調査」において関係機関と連携を図り水質の一斉調査を行います。

第五管区海上保安本部では、「海の再生」プロジェクトを推進するため、定期的に大阪湾の流況及び水質調査を行っていますが、8月には大阪湾再生推進会議^{*1}の行う一斉調査に参加します。

調査予定日時：平成28年8月8日(月)～8月9日(火)

第五管区海上保安本部は、海水の流れ(流向・流速)、海水表層や海水中における水温、塩分、透明度、pH、溶存酸素量^{*2}などを調査しており、その結果は大阪湾再生推進会議に提出し大阪湾の汚濁メカニズムの解明の推進に寄与しています。

第五管区海上保安本部が定期的実施している結果については、以下のURLから閲覧できます。

URL:<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN5/kankyotop.htm>

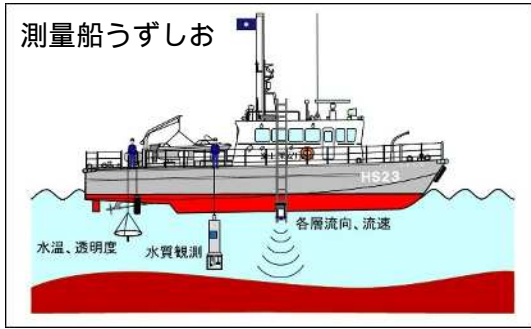
1 大阪湾再生推進会議

都市再生プロジェクトとして「海の再生」を進めるため、大阪湾における「海の再生」のための行動計画を推進することを目的としている。

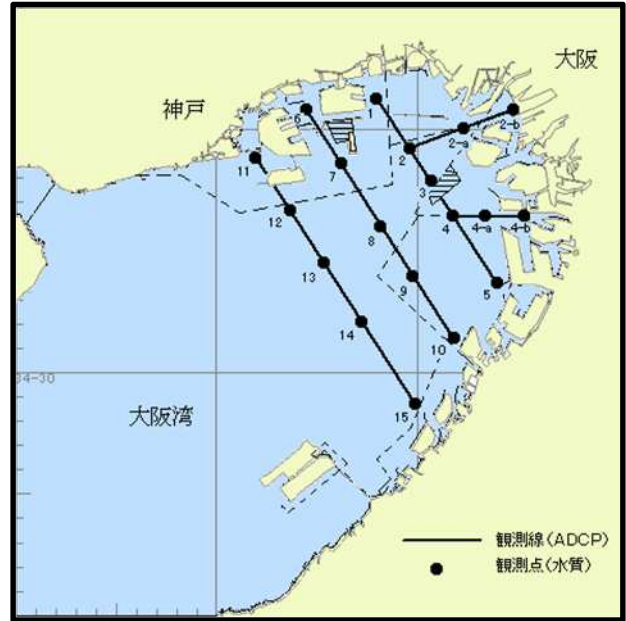
「大阪湾再生水質一斉調査」は、推進会議の幹事会に置かれている4つのワーキンググループのうち、モニタリンググループに属している国・地方自治体や研究機関・企業・学校などの機関が連携して一斉に水質調査を実施するものです。

2 溶存酸素量(DO)

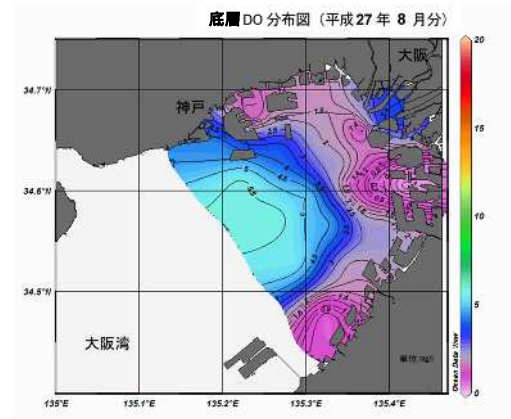
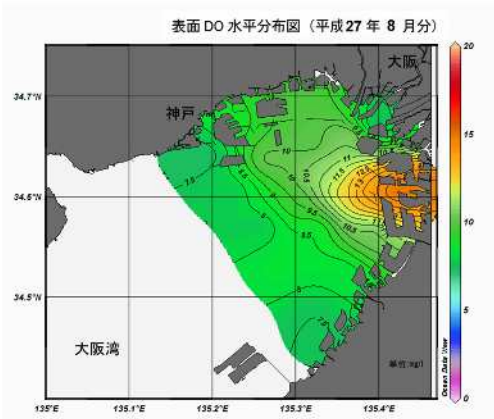
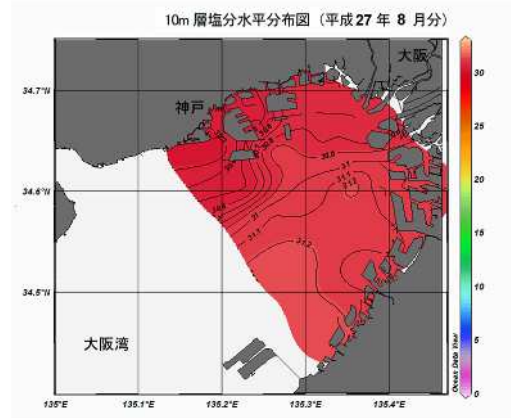
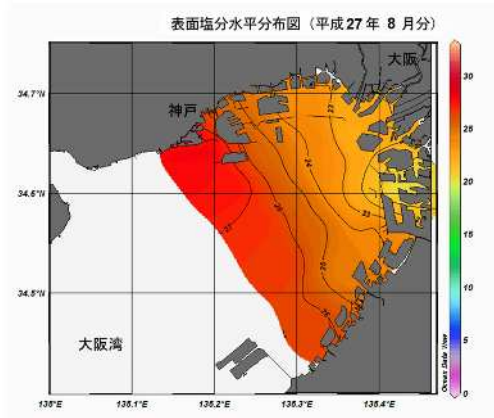
海水中での酸素量を示し、海底付近では酸素が供給されにくく、海底付近で生活している生き物に影響を及ぼすことがあるため、大阪湾再生推進会議の行動計画では底層DOを生き物の棲みやすさの指標としています。



水質観測状況



第五管区海上保安本部の観測ポイント



昨年 8 月の観測結果の例